

Job

Chapter 4

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

וַיַּעַן אֱלִיפַז הַתִּימְנִי וַיֹּאמֶר: 1
言った テマン人の エリファズは 答えた
[H0559](#) [H8489](#) [H0464](#)

その時、temanびとエリパズが答えて言った、

הֲנֹסֶה דְבָרִי אֵלֶיךָ תִּלְאָה וְעָצָר בְּמַלְּיָן מִי יוּכַל: 2
試みたら 言葉に 疲れるか あなたに 抑えることを 言葉を 誰か できるか
[H5254](#) [H1697](#) [H0413](#) [H3811](#) [H6113](#) [H4405](#) [H4310](#) [H3201](#)

「もし人があなたにむかって意見を述べるならば、あなたは腹を立てるでしょうか。しかしだれが黙っておれましよう。

הִנֵּה יָסִרְתָּ רַבִּים וַיָּדִים רַפּוֹת תַּחֲזִיק: 3
見よ 教えてきた 多くの-者を 弱い-手を 弱い 強くしてきた
[H2009](#) [H3256](#) [H3027](#) [H7504](#) [H2388](#)

見よ、あなたは多くの人を教えさとし、衰えた手を強くした。

כּוֹשֵׁל יְקִימוּן מִלִּיד וּבִרְכִּים כָּרְעוֹת תִּאֲמִין: 4
つまずく-者を 立たせた あなたの-言葉は 折れた-ひざを 折れた 強くしてきた
[H3782](#) [H4405](#) [H1290](#) [H3766](#) [H553](#)

あなたの言葉はつまずく者をたすけ起し、かawaiiひざを強くした。

כִּי וְעַתָּה תָּבוֹא אֵלֶיךָ וּתִלָּא תִגַּע עֲרִידָה וְתִבְהַל: 5
しかし 今 来た あなたに 触れた 疲れる 触れた おびえる
[H6258](#) [H0935](#) [H0413](#) [H3811](#) [H5060](#) [H5704](#) [H0926](#)

ところが今、この事があなたに臨むと、あなたは耐え得ない。この事があなたに触れると、あなたはおじ惑う。

הֲלֹא יִרְאַתְךָ כְּסִלְתֶּךָ וְתָם יִרְכִּיךָ: 6
ではないか あなたの-畏れが あなたの-確信に あなたの-望みが 潔白と あなたの-道の
[H3808](#) [H3374](#) [H3690](#) [H8537](#) [H1870](#)

あなたが神を恐れていることは、あなたのよりどころではないか。あなたの道の全きことは、あなたの望みではないか。

זָכַר- נָא מִי הוּא נָקִי אָבָד וְאִיפָּה יִשְׁרִים נִכְהָרוּ: 7
思い-出さない どうか 誰か その-者が 滅びたか また-どこで 正しい-者が 絶えたか
[H2142](#) [H4994](#) [H4310](#) [H1931](#) [H0006](#) [H0375](#) [H3477](#) [H3582](#)

考えてみよ、だれが罪のないのに、滅ぼされた者があるか。どこに正しい者で、断ち滅ぼされた者があるか。

כְּאֲשֶׁר רָאִיתִי תִרְשִׁי אֲנִי וְזָרְעִי עֲמַל יִקְצְרֵהוּ: 8
私が-見たとおり 見た 耕す-者は 罪を また-まける-者は 苦しみを 刈り-取る
[H7200](#) [H0205](#) [H2232](#) [H5999](#)

わたしの見た所によれば、不義を耕し、害悪をまく者は、それを刈り取っている。

מְנַשְּׁמַת אֱלֹהִים יֹאבְדוּ וּמְרוֹחַ אָפּוֹ יִכְלוּ: 9
息吹きで 神の 滅びる 怒りの-息で 彼の 尽きる
[H5397](#) [H0433](#) [H0006](#) [H7307](#) [H0639](#) [H3615](#)

彼らは神のいぶきによって滅び、その怒りの息によって消えうせる。

שְׁאֵנֶת אֲרִיָּה וְקוֹל שְׁחָל וְשֵׁנִי כְּפִירִים נִתְעוּ: 10
吞える-声と 獅子の また-声と 若い-獅子の 歯も 小-獅子の 折られた
[H7581](#) [H7826](#) [H8127](#) [H5421](#)

ししのほえる声、たけきししの声はともにやみ、若きししのきばは折られ、

לֵישׁ אֶבֶר מִבְּלִי-טָרֶף וּבְנֵי לְבִיא יִתְפָּרְדּוּ: 11
雄-獅子は 滅びる なくて 獲物が 子らも 雌-獅子の 散らされる
[H3918](#) [H0006](#) [H1097](#) [H2964](#) [H6504](#)

雄じしは獲物を得ずに滅び、雌じしの子は散らされる。

וְאַלִּי דְבַר יִגְבַּב וְתִקַּח אָזְנִי שְׁמַיִן מִנְהוּ: 12
私に 言葉が 忍び-寄った 受けた 耳が ささやきを その
[H0413](#) [H1697](#) [H1589](#) [H3947](#) [H0241](#) [H8102](#)

さて、わたしに、言葉がひそかに臨んだ、わたしの耳はそのささやきを聞いた。

בְּשֹׁעֲפִים מַחְזִינֹת לַיְלָה בִּנְפֹל תִּרְדָּמָה עַל-אֲנָשִׁים: 13
惑いの-中で 幻から 夜の 落ちる-時に 深い-眠りが 一 人々に
[H2384](#) [H3915](#) [H5307](#) [H8639](#) [H0376](#)

すなわち人の熟睡するころ、夜の幻によって思い乱れている時、

פָּחַד קָרָאִנִּי וְרַעְרָה וְרַב עֲצְמוֹתַי הִפְחִיד: 14
恐れが 襲った おののきが 多くの 骨を 震えさせた
[H6343](#) [H7122](#) [H7461](#) [H7230](#) [H6106](#) [H6342](#)

恐れがわたしに臨んだので、おののき、わたしの骨はことごとく震えた。

וְרוּחַ עַל-פָּנַי יַחֲלֶף תִּסְמֹךְ שְׁעֵרַת בֶּשָׂרִי: 15
霊が 一 私の-顔を 過ぎった 逆立った 毛が 肉体の
[H7307](#) [H6440](#) [H2498](#) [H5568](#) [H8185](#) [H1320](#)

時に、霊があつて、わたしの顔の前を過ぎたので、わたしの身の毛はよだった。

וַעֲמָד וְלֹא-יָעֲמָד וְלֹא-יָצַדְק מֵאֱלֹהִים יִצְדָּק אִם מַעֲשָׂהוּ יִטְהַר-נָבֵר: 16
立っていた 立って かし-なかった 見分けることが その-姿を 形が 目の-前に 静けさと 私の
[H5975](#) [H3808](#) [H4758](#) [H8544](#) [H5048](#) [H1827](#)
וְקוֹל אֲשַׁמָּע: 16
声を 聞いた
[H8085](#)

そのものは立ちどまったが、わたしはその姿を見わけることができなかった。一つのかたちが、わたしの目の前にあつた。わたしは静かな声を聞いた、

הָאָנוּשׁ הָאֱלֹהִים יִצְדָּק אִם מַעֲשָׂהוּ יִטְהַר-נָבֵר: 17
人が 神より 正しいか また 造り-主より 清いか 人が
[H0582](#) [H0433](#) [H6663](#) [H2891](#) [H1397](#)

『人は神の前に正しくありえようか。人はその造り主の前に清くありえようか。』

הֵן בְּעֵבְדָיו לֹא יֶאֱמִין וּבְמַלְאָכָיו יִשִּׁים תַּהֲלֶה: 18
見よ しもべたちさえ ない 信頼しない 御使いたちにさえ 置く 過ちを
[H2005](#) [H5650](#) [H3808](#) [H0539](#) [H4397](#) [H8417](#)

見よ、彼はそのしもべをさえ頼みとせず、その天使をも誤れる者とみなされる。

עֵשׂ: לְפָנַי- יִדְכָּאוּם יְסוּדָם בְּעָפָר אֲשֶׁר- חֹמֶר בֵּיתִי- שְׁכֻנִי וְאֵף 19
 蛾の 前に 碎かれる 基がある 塵に その 土の 家に 住む-者は ましてや
 [H6440](#) [H1792](#) [H3247](#) [H6083](#) [H7931](#) [H0637](#)

まして、泥の家に住む者、ちりをその基とする者、しみのようにつぶされる者。

 יֵאָבְדוּ: לְנֶצַח מְשִׁים מִבְּלִי יִכָּתוּ לְעֶרֶב מִבֹּקֶר 20
 滅びる 永遠に 気づく-者も なくて 打ち-碎かれる 夕まで 朝から
 [H0006](#) [H5331](#) [H1097](#) [H3807](#) [H6153](#) [H1242](#)

彼らは朝から夕までの間に打ち碎かれ、顧みる者もなく、永遠に滅びる。

 בְּחֶכְמָה: וְלֹא יָמוּתוּ בָּם יִתְרָם נִסָּע הֲלֹא- 21
 知恵によって しかも-ない 死ぬ 彼らの-中で 綾の-紐が 引き-抜かれた ではないか
 [H2451](#) [H3808](#) [H4191](#) [H5265](#) [H3808](#)

もしその天幕の綱が彼らのうちに取り去られるなら、ついに悟ることもなく、死にうせるではないか』。